

平成29年度 一般財団法人ヨシックス記念財団奨学生募集要項

1. 特徴

- (ア) 一般財団法人ヨシックス記念財団(以下「この法人」という。)は、愛知県内の専修学校・短期大学・大学・大学院に在学する有意な大学生等のうち、学術優秀、品行方正でありながら経済的理由により就学困難である者への奨学金給付を通じて、有意な人材の育成に寄与することを目的として設立されました。
- (イ) この法人の奨学金に返還の義務はありません。また奨学金の給付を受けても、この法人の設立会社等への入社等の付帯義務を負うものではありません
- (ウ) 他団体の奨学金との併給も可能とします

2. 採用予定人数

専修学校【2年制(2年)】【3年制(2年～3年)】・短期大学(2年～3年)・大学(2年～4年)・大学院修士課程、大学院前期課程・大学院博士後期課程に在学する学生合計30名程度

3. 奨学金の給付月額、期間

	給付月額	期間
専修学校【2年制(2年)】	10,000円	平成29年4月より最長平成30年3月まで (正規の最短修業期間)
専修学校【3年制(2年～3年)】	10,000円	平成29年4月より最長平成31年3月まで (正規の最短修業期間)
短期大学(2年)	10,000円	平成29年4月より最長平成30年3月まで (正規の最短修業期間)
大学生(2年～4年)	10,000円	平成29年4月より最長平成32年3月まで (正規の最短修業期間)
大学院生 (修士課程・博士前期・後期課程)	10,000円	平成29年4月より最長平成32年3月まで (正規の最短修業期間)

4. 採用基準

- (ア) 愛知県内に在学する専修学校【2年制(2年)】【3年制(2年～3年)】・短期大学(2年)・大学(2年～4年)・大学院修士課程・博士課程に在学する者
- (イ) 出願する年度の4月現在、専修学校【2年制(2年)】【3年制(2年～3年)】・短期大学(2年)・大学(2年～4年)・大学院修士課程・大学院博士前期課程・大学院博士後期課程に在学する者
- (ウ) 平成29年4月2日時点で、原則として専修学校は満22歳以下、短期大学は満21歳以下、大学生は満23歳以下、大学院生は満33歳以下であること。留学生の場合、原則として、専修学校は満25歳以下、短期大学は満24歳以下、大学生は満31歳以下、大学院生は満38歳以下であること
- (エ) 成績要件及び収入要件は以下のとおりとする

【専修学生(2年制)】

(1) 成績要件

原則、前年度までの成績の評定平均が、3.8以上の者
[2年生]前年度1年間(1年生分)の評定平均が、3.8以上

(2) 収入要件

- ・収入の種類、金額、世帯構成、通学形態、家庭の事情などを全て考慮するが、目安となる家計収入の上限は、給与収入世帯の場合は、世帯合計収入600万円未満、給与収入以外の世帯の場合は、自営業などその他収入340万円未満とする

【専修学生(3年制)】

(1)成績要件

- 原則、前年度までの成績の評定平均が、3.8以上の者
[2年生]前年度1年間(1年生分)の評定平均が、3.8以上
[3年生]前年度1年生から2年生の評定平均が、3.8以上

(2)収入要件

- ・収入の種類、金額、世帯構成、通学形態、家庭の事情などを全て考慮するが、目安となる家計収入の上限は、給与収入世帯の場合は、世帯合計収入600万円未満、給与収入以外の世帯の場合は、自営業などその他収入340万円未満とする

【短期大学生】

(1)成績要件

- 原則、前年度までの成績(GPA(Grade Point Average))が、3.00以上の者
[2年生]前年度1年間(1年生分)のGPAの標準が3.00以上

(2)収入要件

- ・収入の種類、金額、世帯構成、通学形態、家庭の事情などを全て考慮するが、目安となる家計収入の上限は、給与収入世帯の場合は、世帯合計収入600万円未満、給与収入以外の世帯の場合は、自営業などその他収入340万円未満とする

【大学生】

(1)成績要件

- 原則、前年度までの成績(GPA(Grade Point Average))が、3.00以上の者
[2年生]前年度1年間(1年生分)のGPAの標準が3.00以上
[3年生]1年生～2年生分の累計GPAの標準が3.00以上
[4年生]1年生～3年生分の累計GPAの標準が3.00以上

(2)収入要件

- ・収入の種類、金額、世帯構成、通学形態、家庭の事情などを全て考慮するが、目安となる家計収入の上限は、給与収入世帯の場合は、世帯合計収入600万円未満、給与収入以外の世帯の場合は、自営業などその他収入340万円未満とする

【大学院】

(1)成績要件

- 原則、前年度までの成績(GPA(Grade Point Average))が、3.00以上の者
[修士1年生]学部生1年生～4年生分の累計GPAの標準が3.00以上
[修士2年生]学部生1年生～4年生に加えて、修士1年生の累計GPAの標準が3.00以上
[博士後期1年生]学部生1年生～4年生分の累計GPAの標準が3.00以上、修士1年生～2年生の累計GPAの標準が3.00以上
[博士後期2年生]学部生1年生～4年生及び修士1年生～2年生に加えて、博士後期1年生の累計GPAの標準が3.00以上
[博士後期3年生]学部生1年生～4年生及び修士1年生～2年生に加えて、博士後期1年生～2年生の累計GPAの標準が3.00以上

(2)収入要件

- ・収入の種類、金額、世帯構成、通学形態、家庭の事情などを全て考慮するが、目安となる家計収入の上限は、給与収入世帯の場合は、世帯合計収入600万円未満、給与収入以外の世帯の場合は、自営業などその他収入340万円未満とする

(オ) 在学する学校長、学長、研究科・専攻長、指導教官等の推薦する者

(カ) 学費の支弁が困難と認められる者

(キ) 心身ともに優れている者

5. 提出書類

(ア) 提出書類

- ① 奨学生願書(所定様式による)
- ② 写真(たて4cm×よこ3cmで裏面に記名の上、①の奨学生願書に貼付)
- ③ 研究計画書またはゼミや授業で取り組んでいること(所定の用紙に記載のこと。5枚以内)
- ④ 在学証明書
- ⑤ 学業成績証明書(GPAが記載されているもの。大学がGPAを証明書に記載していない場合は、「10.GPAの算出について」をもとにして成績証明書の余白に応募者がGPAを計算し記載すること)
- ⑥ 推薦書(1通。学長、研究科・専攻長、指導教官)のうちいずれか1名により書かれたもの。また学校指定のものが存在する場合はそれを使用)
* 上記書類は、ホチキス留めせず、申請者ごとにクリップでまとめてご提出ください

(イ) 提出期限

平成29年5月15日(月)までに[必着]にてご提出願います

* 申請者ご本人からの直接の問合せ・応募は受け付けておりません。必ず大学を通じてご連絡・応募ください

* 申請書の電子データが必要な場合は、<http://www.yossix-m-foundation.or.jp/>にアクセスしてください

(ウ) 書類提出先・問合せ先

一般財団法人ヨシックス記念財団事務局(事務局 大崎)

info@yossix-m-foundation.or.jp

6. 選考

(ア) 書類選考及び面談(書類選考通過者)により総合的に勘案し決定します

(イ) 奨学生の合否通知は、7月上旬に大学及び本人宛に送付します

7. 奨学生の義務

(ア) 奨学生は、次年度の奨学金給付のために毎年度末に学業成績表、生活状況報告書及び在学証明書を理事長あてに提出する必要があります

(イ) 奨学生は、休学・復学・転学・留年・退学・停学(その他処分)、氏名・住所の変更、留学のいずれかが発生した場合には、直ちに届け出る必要があります

(ウ) 奨学生は、奨学金給付後もこの法人の定めた書類を期日までに提出する必要があります

(エ) 成績不良、操行不良等、本財団奨学金給付規程に定める場合には、翌年度以降の奨学金給付を停止又は廃止する場合があります

8. その他

(ア) 奨学生に決定した方に対しては、7月から奨学金の給付を行います。応募書類は返却しません

(イ) 募集要項に記載された内容以外は、この法人奨学金給付規程の定めに従います

(ウ) 奨学金は、当法人指定銀行の口座に振込みます。指定銀行及び口座については奨学金給付合格者に対して改めてご連絡致します

9. 個人情報に関する取り組み

- (ア) 提供された個人情報は、「一般財団法人ヨシックス記念財団個人情報保護方針」に従い適切に管理します
- (イ) 提供された個人情報は、この法人において、奨学金の給付、奨学生に対する指導助言、その他この法人の目的を達成するために必要な範囲内で利用します
- (ウ) 業務の遂行上必要な範囲で、提供された個人情報を外部の業務委託先に開示する場合があります。この場合、この法人は当該業務委託先と個人情報の取扱いに関する取決めを行い、個人情報保護に万全を期すよう努めます
- (エ) 提供された個人情報に関する確認、質問及び変更等については、下記窓口へお問合せください
 一般財団法人ヨシックス記念財団（事務局 大崎）
info@yossix-m-foundation.or.jp

10. GPAの算出について

- (ア) 在学大学が5段階評価か4段階評価かに応じて、表1の対応関係をもとに自身の大学の評価をGPに換算し(イ)の通りGPAを算出すること
- (イ) GPAの算出方法

$$GPA = \{ (4 \times GP4 \text{相当の単位数}) + (3 \times GP3 \text{相当の単位数}) + (2 \times GP2 \text{相当の単位数}) + (1 \times GP1 \text{相当の単位数}) + (0 \times GP0 \text{相当の単位数}) \} / \text{総単位数(全科目の単位の合計)}$$
- (ウ) 合否判定のみの科目は算定から除外すること

表 1

評価とGP（グレードポイント）の対応関係
 5段階評価の場合

評価の例	S	A	B	C	F	(点) (ポイント)
	A+	A	B	C	F	
	秀	優	良	可	不可	
点数	100-90	89-80	79-70	69-60	59-0	
G P	4	3	2	1	0	

4段階評価の場合

評価の例	A	B	C	---	D	(点) (ポイント)
	優	良	可	---	不可	
点数	100-80	79-70	69-60	---	59-0	
G P	4	3	2	1	0	

スケジュールイメージ	
4月3日	募集開始
5月15日	応募書類締め切り
6月上旬	面接（書類選考通過者）
7月上旬	選考結果の通知
7月下旬	初回振込み